

桜丘北小だより

第7号

9月30日発行
児童数 268名



一人ひとりが主役となり、輝き続ける学校



【全ての子ども達・教職員・保護者・地域が“安心”できる学校づくりを目指します】

「情けは人の為ならず」を科学的に実証



「情けは人のためならず」は、「人にやさしくすると、やがて自分にもいいことがかえってくる」という意味です。「ず」がついていることで、「人に親切にしてはいけない」と思われそうですが、「人のためだけでない」ということを強調しています。

つまり、「情け(親切)は、人のためだけでない(＝自分のためにもなる)」ということです。

このことわざは科学的に実証されています。大阪大学の研究グループは人において親切が広く交換されるための仕組みが、5～6歳の幼児の日常生活で働いている事を世界で初めて確認しました。

ある日、幼稚園で B さんが C さんの服のボタンをとめるのを手伝ってあげていました。その様子を、別の A さんがみていました。すると、後日、A さんが B さんに自分のおもちゃを貸してあげるといいう行動が見られました。A さんは、直接的に B さんから親切にされたわけではありません。けれども、B さんの親切な行動を観察したことにより、B さんに対する好意的な気持ちが高まった結果、親切な行動を B さんに行った様子が観察できたのです。

人のために行った利他の行為は、巡り巡って自分のところに返ってくることを教えてくれるのが「情けは人の為ならず」ということわざです。

6年間の学校生活の中で、このような場面づくりや子ども同士の関係づくりこそが、誰もが「安心」できる学校へとつながっていると感じています。10月に入り、いよいよ後半の取り組みとなります。

引き続き、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、子ども主体の魅力ある学校を目指して参ります。

(参考書籍:「教師の仕事術」渡辺 道治 著) 校長 高比良 英男





9月の各学年の取り組み & 校外学習(大阪関西万博)3年5年の様子



校外学習予定 遠足		
10月2日(木)	3年	消防署見学
10月2日(木)	4年	浄水場見学
10月7日(火)	4年	防災センター見学
10月10日(金)	5年	稲刈り
11月7日(金)	1年2年	ひらかたパーク
11月7日(金)	4年	淀川清掃
11月10日(月)	5年	共英製鋼見学
11月11日(火)	3年	警察署見学
11月18日(火)	4年	枚方合同音楽会参加
11月20日(木)21日(金)	6年	修学旅行

令和7年度 10月予定表			
月	日	曜日	行事予定
10	1	水	ほっとるうむAM
10	2	木	校外学習(消防署3年)(浄水場4年) えほんの会(1年)
10	3	金	
10	4	土	
10	5	日	
10	6	月	視力検査(6年)
10	7	火	校外学習(あべのタスカル4年)視力検査(5年)
10	8	水	えほんのひろば① 視力検査(4年) ほっとるうむAM
10	9	木	えほんのひろば② 視力検査(3年)
10	10	金	運動会全体練習① 稲刈り(5年)
10	11	土	
10	12	日	
10	13	月	スポーツの日
10	14	火	運動会全体練習①(予備日) ダイコロ出前授業(3年)
10	15	水	ほっとるうむAM 視力検査(2年)
10	16	木	えほんの会(2年3年) 視力検査(1年)
10	17	金	運動会全体練習②
10	18	土	
10	19	日	
10	20	月	運動会全体練習②(予備日)
10	21	火	運動会全体練習③ フラワータイム
10	22	水	ほっとるうむAM
10	23	木	運動会全体練習③(予備日)
10	24	金	運動会前日準備
10	25	土	運動会本番
10	26	日	運動会予備日①
10	27	月	運動会代休日
10	28	火	
10	29	水	運動会予備日② 13時15分下校
10	30	木	
10	31	金	
11月18日(火)枚方市合同音楽会(4年)			
11月20日(木)21日(金)修学旅行(6年)			
11月28日(金)オープンスクール(2H~4H)			

(1)10月25日(土) 運動会

10月27日(月) 運動会代休

26日(日)または29日(水)運動会延期日

※詳細のお知らせは、後日は配付予定です。

(2)引続き熱中症対策お願いします。

水筒・タオルは忘れずに持たせてください。



○運動会終了時まで、ランドセル以外(リュック・ナップサックなどの両腕が空いている物)での登校を許可しています。

「学校ブログ」はこちらから📱



【桜丘北小では5つのいじめ防止の取組みを推進しています】

- 1.軽微ないじめも見逃しません。
- 2.教員一人では対応せず、学校組織一丸となって取組みます。
- 3.相談しやすい環境の中で、いじめから子どもを守り通します。
- 4.子ども達自身が、いじめについて考え、行動できるようにします。
- 5.保護者の理解と協力を得て、いじめの解決を図ります。